

昭和63年度普及区域指導計画

都道府県名 沖縄県

専門技術員室名称 沖縄県水産業改良普及所専任室

普及区域 本島一円

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動経過	翌年度への展開事項
企画事業	1. 普及職員連絡協議会	6月 9月 3月	普及所 宮古 八重山	普及職員		普及活動計画のみなおしにあたっての職員間の考え方について、意見交換を行なうとともに、普及事業全般にわたっての進め方・展開方法等検討を行なうため協議会を開催する。	
	2. 漁家担当生活改善普及員との意見交換会	1月	普及所	水改, 生改	専門技術員	普及指導活動の計画樹立及び実施に当っては、水産業改良普及組織と生活改善普及組織が十分連携をとり効率的な普及活動の推進を図るべく毎年1回意見交換会を開催する。	
	3. 漁業士会議	6月, 11月	普及所	漁業士	市町村 漁協	認定された漁業士の活動を援助する目的で定期に漁業士会を開催し地域漁業振興の担い手として、どのような活動の展開を図るべきか意見交換を行なうとともに、漁業士会結成へ向けての基盤作りをしたい。	
	4. 漁協青壮年部部長会議	2月	普及所	部長 事務局長	市町村 漁協	巡回移動相談を継続的に実施し漁協青壮年部の組織の強化と漁業協同組合と	

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動経過	翌年度への展開事項
企画事業	5. モズク養殖生産者会議	10月	普及所	生産者	市町村 漁 協	<p>の密接な連携を図る必要がある。そのためには、生産活動と結びつけた組織作りと活動課題の設定が急がれるため毎年1回移動相談終了後に部長会議を開催する。</p> <p>量から質の時代に移行する中で、いかに品質の良いモズクを作るかが最大の課題である。そのためには、現場で実際に生産にたずさわっている漁業者一人一人が認識し協力がないことには、とうていできるものではない。したがって年1回生産者が一同に会し、モズク養殖技術から品質管理についての意見交換を行ない、生産者間の連携が図られるよう援助する。</p>	
	6. ヒトエグサガ養殖生産者会議	8月	普及所	生産者	市町村 漁 協	<p>ヒトエグサガの養殖は、天然採苗を主体に養殖が初められて30数年になるが地域によっては、まだ安定生産までにはいたっていない。したがって同会議では技術面を主体に意見交換を実施する。</p>	
	7. 普及資料及び広報の発行(普及だより)	年2回	普及所	青年部 生産グループ	市町村 漁 協	<p>現場との情報活動の一環として発行する。</p>	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動経過	翌年度への展開事項
試験事業	クビレオゴノリの増 養殖試験 (技術改良試験)	4月～ 3月	糸満 具志川	青年部 生産グループ	市町村 漁協	昭和60年度から61年度にかけては、オ ゴノリの養果の成熟度調査及びライフ サイクル等について室内実験をくりか えし養果から放出された果胞子による コレクター採苗の可能性をみいだした。 その後、62年度にかけてコレクター採 苗による種石の移植放流を行なってき た。コレクター移植では砂に埋まるもの や台風等により移動がみられ、かなら ずしも良い結果とは言えない。そういつた ことで62年度はコレクター移植と平行 してノリ網やネトロンシートによる採苗を 試みたが前者については、発芽はみら れるものの収穫までにはいたらず、同 方法については問題がある。後者につ いては着生のバラツキはみられるが2月 末で藻体の大きさが10～20cmと生育し ていることから63年度も引き続き検討 したい。 オゴノリの採苗から養殖までのサイクル では採苗後、夏をこし翌年発芽生育が みられることから海中での長期間に及 ぶ網の張り込みは（汚れや台風等によ る破損がいちぢるしい）問題が多過ぎ るように思われる。 昭和63年度は、ネトロンシート採苗も含め てサンゴの骨格によるコレクター採苗と 貝殻（ヒオラギ貝）によるコレクター採苗	

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動経過	翌年度への展開事項
一般指導事業	1. モズク漁場造成に係る漁場環境調査指導	4月～ 3月	辺念城知 与那城 恩納部 本伊是名	生産者	市町村 漁協普及員 (宮古地区)	を行ない、夏の間は室内タンクで育苗保存し発芽生育させ、その後延縄式による垂下養殖を実施する。 モズク養殖漁場特に育苗漁場の環境及び造成方法については、試験研究例がなく今後、漁場汚染と生育との関係解明が急務になってくると思われるので水試とのタイアップで6地区について継続実施する。	
	2. スジアオノリの養殖及び漁場環境調査指導	11月～ 6月	恩納村	青年部	市町村 漁 協	採苗技術については確立されたものと考えられるが養殖方法及び漁場環境特に淡水の影響による生育との関係が顕著であるため、漁場環境調査も含めて実施する。さらに、色出し対策としての養殖方法の改善が急がれる。	
	3. クビレヅタ養殖及び漁場環境調査指導	4月～ 10月	具志川市	青年部	市町村 漁業組合	クビレヅタは、宮古でしか養殖できないという、イメージが強かった。本島周辺でも何地区か漁業者により試みられているが成功していない。たまたま、オゴノリの技術改良試験との関連で金武湾に面した運称城ヌ前地先において垂下した所、2ヶ月で収穫可能な大きさに生育することが確認された。しかしながら同湾内いずれの海域でも同様な生育を示すものではなく、その原因究明のため	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動経過	翌年度への展開事項
研修事業	4. 漁協青壮年部育成指導 (担い手育成)	4月～3月	県下12地区の青壮年部	青年部	市町村 漁協	<p>漁場環境予備調査を昭和62年度から実施しているので、継続する。</p> <p>漁協青壮年部の活動目標を明確にし、新しい協同意識を高める努力が大切である。したがって、漁協と青壮年部とのヨコの関係を重視し共通性にもとづく連携活動が青年部活動の基本である。巡回移動相談を継続的に実施し、活動が円滑に行なわれるよう援助するとともに、漁業日誌等記帳指導も平行して実施する。</p>	
	普及員一般研修	12月	普及所	普及員	専門技術員	漁協青壮年部活動の進め方 (部会及び班毎の課題設定について)	
	漁業技術一般研修	4月～3月	本島地区 伊平屋 大宜味、国頭 与那原	生産者 " " 婦人部	市町村, 漁協 " " "	<p>(1) モスク冷蔵保存及び品質管理に関すること。</p> <p>(2) ヒトエグサの採苗及び生育層に関すること。</p> <p>(3) イバラノリの養殖に関すること。</p> <p>(4) ヒジキの養殖と施肥に関すること。 (主に肥培管理について)</p>	

昭和63年度 普及事業に関する移動相談、研修及び会議実施計画

(専技室)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
青年部巡回移動相談			国頭 石川	川 具志川	伊平屋 伊江	勝連 沖繩市	念 知久米島	恩納 糸満						
青年部長事務局長会議			漁業士会											
漁業士会議														
漁家担当生活改善普及 及員との意見交換会														
普及計画検討会														
青年部課題設定に伴 なう担当地区検討会														
モスク養殖生産者会議														
ヒトエグサ養殖生産者会議														
普及員一般研修														
漁業者一般研修														
技術改良試験														
普及だよりの発行														
		(クヒレツタ)			(ヒトエグサ)		(モスク)			(ヒジキ)		(イハラ)	増養殖技術及び 漁業日誌に関す ること オゴノリ垂下式 養殖試験	

昭和63年度普及区域指導計画

都道府県名 沖 縄 県
 改良普及員室名称 水産業改良普及所普及員室
 普及区域 沖縄本島地区

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	漁村青少年協議会	6月 10月 3月	普及地区	漁村青少年	漁市青年学識経験者 協村部	<ul style="list-style-type: none"> 漁業後継者対策事業の検討、索定のための協議会開催、漁協青年部との交流会を実施する。 漁協や関係機関との情報交換、現場情報の提供のため発行する。 	漁業振興事業
	普及職員業務連絡会	5月、10月 2月	本島、宮古 八重山	普及職員	漁市町	普及活動の計画、検討や、活動状況の交換を行う。	
	沿岸漁業改善資金運用事業	4月～ 3月	普及地区	漁業者	漁市町	事業計画の検討、事業の指導、貸付後の運用・調査等を行う。	沿岸漁業改善資金 助成事業
	沿岸域計画営漁推進事業	4月～ 3月	久米島	漁業者 漁協	村 その他	地域漁業の問題点及び営漁意向を把握し、地域営漁計画の作成指導を行う。	水産庁、全漁連 の推進する事業の 一つである。
	青年漁業士等育成指導事業	4月～ 3月	普及地区	漁業者	市 漁協	研修講座等を実施して青年漁業士、指導漁業士の育成を図る。	
調査事項	漁業公害調査	4月～ 3月	本島地区	漁業者	漁市水 協村試	1. 主として養殖場付近の水質調査を毎月2回実施する。 ○測定場所：名城、志喜屋、与那原、	

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
	少年水産教室受講生の追跡調査	4月～3月	本島地区			北中城、与那城、石川、 屋嘉田、羽地、塩屋 。測定項目：水温、DO、比重、PH、 気温、天候、風向、 風力、波浪 2. 赤土調査 。赤土流出場所における晴天時と大 雨時の写真撮影と濁度測定 。測定場所：6地点（前年度と同様） 第1回少年水産教室からの受講生の職 業や進路について調査する。	
研修事業	普及員一般研修	4月～3月 (1回)	糸満市	普及員	専 技	専門技術員による行政一般、並びに専 門技術等についての研修を実施する。	
	全国水産業改良普及職員行政研修	4月～3月 (1回)	東 京	普及職員	水産庁	昭和63年度全国水産業改良普及職員 行政研修参加	
	交流学習会	9月	恩納村	漁業者、漁協 市町村関係団体	漁協、市町村 水 試	「漁場自主管理について」 愛媛県遊子漁協 古谷和夫組合長	
	技術交流会	8月	奄美大島	研究グループ 漁業者	" "	魚類養殖について 場所：奄美大島瀬戸内漁協 参加者：羽地漁協1名 北谷漁協1名	

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
		7月	大分県	漁業者	漁協 市町村 水産試験	資源管理型漁業について 場所：大分県姫島漁協 参加者：本島地区青年漁業士1名 (他 宮古1名) 八重山1名	
	特別研修	6月	熊本県	漁業者	"	漁船漁業における活魚出荷と流通について 場所：熊本県牛深 参加者：港川漁協青年部2人	
試験事業	新技術実証事業	4月～ 3月	久米島	久米島漁協 青壮年部	漁協, 市町村 水産試験	マグロ類の鮮度保持 (マグロ類のヤケ対策)	
指導事業	青年水産教室	6月	恩納村	漁業者 青壮年部	漁協, 市町村 水産試験	サンゴ礁海域の栽培漁業について 琉球大学海洋学科助教 諸喜田 茂充氏	
		1月	那覇市	"	"	漁協青年部実践活動について 鹿児島県漁協青年部連合会 会長 川畑三郎氏	
	少年水産教室	7月 (5日間)	糸満市 (普及所)	中学2～ 3年生	漁協 市町村 水産試験 水産高校	義務教育課程にある児童生徒を対象に 水産に関する初歩的な知識・技術につ いて夏休みを利用して集団指導を行う ※教材配布：沖縄の食用魚(ポストター) 本島・宮古・八重山 配布	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
	漁村青年婦人活動実績発表大会	1月	那覇市	漁業者	漁業者 漁婦	県内グループの活動意欲を高めるため 研究発表・技術交換等により地域の生 産技術の向上、経営の改善についての 討論の場とする。	
	漁協青年部移動相談	4月～ 3月	担当地区	青年部 青壮年部	漁市 協村	漁協青年部や青壮年部と活動状況等に ついでの意見交換を行い、地域にあっ たグループ活動を検討する。	
	魚類養殖指導	4月～ 3月	本島地区	漁業者	漁協, 市町村 水試, 栽培センター	ハマフエフキ, コガネシマアジ, マダイ等 海産魚類養殖指導を実施する。	
	オニテナガ養殖指導	4月～ 3月	"	内水面養殖 業者	養鯉組合水試 市町村, 漁協	主として、ウナギ養殖施設を利用した オニテナガ養殖指導を実施する。	
	フクトコブシ増養 殖指導	4月～ 3月	伊江村	漁協青壮年部	漁協, 市町村 水試	フクトコブシの増殖とカゴ養殖につい ての指導を実施する。	
	水産物の加工指導 トビウオ トビイカ マダロ シラヒゲウニ	63年 4月～ 64年 3月	伊江島 糸満島 久米島 知念 那覇 その他	漁業者 漁協 漁婦人部	村, 水試, 生普及員等	トビウオについては、伊江島と糸満に おいて機械を導入した実験事業を行う。 トビイカは主産地において流通加工 の実態調査を行う。 マダロは試作品の宣伝等流通対策を 行う。 シラヒゲウニは一次処理の技術の普 及を行う。	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動経過	翌年度への展開事項
指導事業	漁協自主管理の指導	63年4月 ～ 64年3月	本島区域 恩納村 久米島等	漁業者 協 漁	漁政課 水市町村等	資源管理型漁業を推進するため、特に漁協が自主的に行う漁獲管理、密漁対策について指導を行う。	
	栽培漁業の推進指導 (魚類、ガザミの中間育成、放流)	4月～ 3月	国頭 与那城 久米島 勝連	漁業者 協 漁	水栽培センター 市町村	中間育成技術(給餌方法・飼育管理・網替え・その他)放流(標識装着)魚介類の取り扱い方法、その他活魚、蓄養技術、養殖技術の普及指導を行なう。	
	鮮度保持指導	4月～10月	久米島他	漁業者	漁協	マグロ、カツオ等の鮮度保持指導	
	海藻類養殖指導	4月～3月	本島地区	研究グループ	漁協	ヒトエグサ、モズク等の養殖指導	
	ジャコ貝放流指導	4月～3月	本島地区	青年部	漁協、市町村	種苗放流方法の改善、管理指導	
	沈設魚礁利用指導	4月～3月	本島地区	青年部	”	設置位置の周知と漁法の改善、魚礁活用指導	沿整事業

昭和63年度 水産業改良普及事業実施計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漁村青少年協議会			第1回 3地区				第2回 3地区
交流学習会						①本島 ②宮古 ③八重山	
特別研修					熊本県 2名		
少年水産教室				本島, 宮古			
青年水産教室		①*** 宮古	②*** 本島				
技術交流会				①*** 奄美大島	②*** 大分県		
新技術実証事業	←						
青年漁業士等育成					講習会		審査
漁村青壮年婦人活動実績発表大会							
技術改良試験	←						
経営改善指導事業		本島					
営漁計画推進事業	←						
普及職員行政研修 普及職員一般研修 専門技術員研修		本島	新潟県				東京

11月	12月	1月	2月	3月	備 考
				第3回 3地区	本島地区3回, 宮古地区3回 八重山地区3回
					漁場自主管理について 愛媛県遊子漁業協同組合 組合長 古谷和夫
					漁船漁業における活魚出荷と流通 熊本県天草(港川漁協青年部2名)
					本島(普及所)5日 宮古3日
③*** 八重山					① 営漁簿の記帳とその実践 税理士 奈良俊一郎 ② サング礁海域の栽培漁業について 琉大海洋学科教授 諸喜田 茂充 ③ 礁湖内の生物生態について 琉大生物学科教授 西平守考 ④ 青年部実践活動について 鹿児島県漁青連合会 川畑三郎
					① 魚類養殖について 本島→奄美 2名 ② 資源管理型漁業(大分県姫島漁協) 本島1名 宮古1名 八重山1名 計3名
					マグロ類の鮮度保持(ヤケ対策) 久米島漁協青年部
		認定			指導漁業士 2名 青年漁業士 5名
		沖縄大会		全国大会	
					オゴノリ養殖試験, 瀬底専技
					魚類加工, 鹿児島県水試共同研究指定工場
					久米島漁協
					水産庁主催(東京) 2名 専技主催(普及所) 水産庁主催(新潟県) 2名

昭和63年度普及区域指導活動計画

都道府県名 沖 縄 県
 改良普及員室名称 宮古支庁農林水産課
 普及区域 宮古地区

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	宮古地区漁村青少年協議会	5月 9月 2月	平良市 伊良部町 平良市	漁村青少年	漁協, 市町村 学識経験者	漁協青年部, 研究グループの活動を強化し、学習会・交流会等を活発に行い、後継者の資質向上を図る。	漁業後継者対策事業
	沿岸漁業改善資金運用事業	4～3月	管内全域	漁業者	漁協, 市町村	需要調査、申請等の検討、手続き指導 事業実施後の調査指導	沿岸漁業改善資金助成事業
	1. 漁業公害調査	4～3月	与那覇湾	漁業者	漁協, 市町村	海浜状況観測指導及び水質調査 (DO, PH, 比重, 水温)	漁業公害対策指導 事業
	2. 魚礁の効果調査	4～3月	宮古地区全域	漁業者	漁協, 市町村	沈礁、浮魚礁の位置指導及び効果利用 状況調査	沿岸漁業整備開発 事業
	3. ノコギリガサミの放流効果調査	4～3月	下地町入江	漁業者	漁協, 下地町 市栽培センター	ノコギリガサミの成長、生息位置及び 生産実績調査	沿岸漁業整備開発事業
4. ウニ礁効果調査	4～3月	島尻地先 大神島西側 海城	漁業者	漁協, 市栽培 センター, 水試 研究グループ	ウニ礁の効果調査及び海藻調査を行 いシラヒゲウニ放流のための資料をえる	沿岸漁業整備開発事業	
5. 中層浮魚礁及び表層浮魚礁の効果調査	4～3月	伊良部島北沖	漁業者	漁協, 市町村 漁協青年部	魚礁周辺の潮流、水温、測定を伊良部 町漁協青年部の協力を得て実施する 魚礁の耐久性及び漁獲調査を行う。	沿岸漁業整備開発事業	
研修事業	水産業改良普及員一般研修	5月	糸満市	普及員	専門技術員	専門技術員による行政一般及び専門事項についての研修	水産業改良普及員 研修実施基準

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
	全国水産業改良普及職員、行政研修 交流学習会	2月 9月	東京 平良市	普及職員 漁村青壮年部	水産庁 市町村、漁協	昭和63年度全国水産業改良普及職員行政研修に一名参加 「漁場自主管理」のテーマで 愛媛県遊子漁協組合長 古谷和夫氏の講演並びに交流会を実施する。	
	特別研修	10月	大分県	漁村青壮年部	市町村、漁協	資源管理型漁業の先進地である大分県 姫島漁協に研修を実施し、宮古地区の 資源管理及び菅漁の指針にするため1 名を派遣する。	
試験事業	キリンサイの増殖 試験	4～7月	与那覇湾地先	漁業者	久松漁業 研究会 平良市漁協 専技室	宮古地区では、古くから珍味として食 されている(ウルス)の原料であるキリン サイの資源が著しく減少しておりその 資源回復のため専門技術員の指導のも と、増殖試験を実施する。	
指導事業	少年水産教室 青年水産教室	7月 11月	宮古水産高校 平良市	中学生 漁協青年部	市町村協 漁協 宮古水産高校 市町村協 漁協	義務教育課程にある中学生を対象に水 産に関する初歩的な知識、技術につい て学習させ、漁業についての理解を深 める。 漁業後継者である漁協青年部を対象に 漁業経営の知識を深めるため勉強会を 開校する。 課題「宮漁簿の記帳方法とその実践」 講師 徳洋漁業 榎 會計主任 税理士 奈良俊一郎	漁業後継者対策事業

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
指導事業	漁村青壮年婦人活動実績発表大会	1月	那覇市	青壮年婦人研究グループ	漁市町農改普及所	記帳実践報告 伊良部町漁協青年部長 前里吉昭 漁村青壮年婦人の自主的な研究実績を発表させることにより、相互の知識の交流を図る。	漁業後継者対策事業
	宮漁簿記帳指導	4～3月	管内全域	漁業者	漁協,市町村	漁業種類別の記帳指導を実施する。	沿岸漁業改善資金助成法
	沿岸漁業改善資金の活用並びに調査指導	4～3月	管内全域	漁業者	漁協,市町村	事業実施後の経営指導	
	グループ指導	4～3月	管内全域	青少年グループ	漁協,市町村	漁協青少年グループの育成指導 特に今年度は、平良市漁協青年部の再建を図る。	
	巡回指導	4～3月	管内全域	青少年部グループ	漁市町	漁村を巡回し、相談、計画、調査等の事業を行い漁協青少年グループの意向集約及び育成強化について、指導する。	
	モズク養殖指導	4～3月	管内全域	漁業者生産グループ	漁市町 栽培漁業センタ	イトモズクの盤状体越冬保存指導並びに漁場選定指導をおこなう。 モズク漁場の水質、水温測定を継続実施する。	
	クビレヅタ増殖指導	4～3月	久松与那覇湾	漁業者研究グループ	漁協,市町村 県水産試験場	3000カゴ×5kg = 15,000kgの生産計画 赤色カイメシの駆除作業を徹底して行う ブドウの鮮度保持の改善を図り本土出荷の体制を確立する。	

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
指導事業	イバラノリ加工指導	9～3月	下地町 入 江	生活改善 グループ		台風対策のためネット方式を指導する。 下地町入江の増殖指導を強化する。	
	魚類養殖指導	4～3月	伊良部町	漁業者 生産グループ	漁協, 町	沿岸漁場整備開発事業で導入した、伊良部地区魚類養殖漁場の経営改善のため、ミナミクロダイ, アイゴ, フェフキダイの養殖指導並びに経営改善指導をおこなう。	
	マグロの漁具漁法 改善指導	4～3月	伊良部町 池間島 平良市	漁業者	漁協, 市町村 県水産試験場	かつお一本釣りの冬期対策でナイロンテグスによるマグロ延縄漁法を普及する。 浮魚礁周辺でのマグロ流し釣り漁法を冬期でも活用できるよう改良する。	
	シラヒゲウニの 加工指導	5～9月	管内全域	漁業者	漁市 協 村	ミョウバンによる生ウニ加工鮮度保持の指導を行う。	

昭和63年度普及区域指導計画

都道府県名 沖 縄 県
改良普及員室名称 八重山支庁農林水産課
普及区域 八重山地区

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	八重山地区漁村青少年協議会	4～3月	八重山地区	漁村青少年	漁協, 市町村 漁協青年部 学識経験者	漁業後継者対策事業の検討、策定のための委員会開催	漁業後継者対策事業
	沿岸漁業改善資金運用事業	4～3月	管内全域	漁業者	漁 市 町 村 協	需用調査、申請等の検討、手続指導、事業実施後の調査指導	沿岸漁業改善資金 助成事業
	漁村生活改善推進事業		与那国町 (久部良)	漁家、婦人	漁協, 市町村 農改普及所	広域セミナーに関連して、漁家・婦人の生産活動、生活環境、健康管理、漁業障害について生活改善普及員と協同で現地調査の実施。	漁村生活改善事業 実施要領
調査事業	漁業公害調査	4～3月	石垣市 (伊原間湾)	漁業者	漁 水 協 試	水質調査 (DO, PH, 比重, 濁度, 水温)	漁業公害調査指導事業
	魚礁調査 (協力)	4～3月	八重山地区	"	漁協, 市町村 研究グループ	沈礁、浮魚礁の効果調査及び利用状況調査。	沿岸漁場整備開発事業
	タカセ貝の放流効果調査	4～3月	竹富島東沖	研究グループ	漁協, 市町村 水 試	昨年度放流したタカセ貝の成長測定及び生息位置の調査。	

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
研修事業	水産業改良普及員 一般研修	6月	糸満市	普及員	専 技	専門技術員による行政一般及び専門事項についての研修	水産業改良普及員 研修実施基準
	全国水産業改良普及 及職員行政研修	2月	東 京	"	水 産 庁	昭和63年度全国水産業改良普及職員行政研修に1名参加	"
	技 術 交 流 会	7月	大分県 (姫島村)	青年漁業士	漁協, 市町村	青年漁業士を対象に資源管理型漁業の意義について技術交流を図る。	
	学 習 会	9月	石垣市	漁業者	"	漁場の自主管理について 講師 愛媛県遊子漁協長 古谷和夫氏	
	漁業技術研修会	6～8月	竹富町 (白浜)	研究グループ	"	曳縄釣漁具、漁法とマグロの鮮度保持について講習会を実施したい。	
試験事業	クビレヅタ養殖試験	4～3月	竹富町 (舟浮湾)	研究グループ	漁協, 市町村 試	クビレヅタの母藻を移植し、増殖させるための技術を比較試験をする。	
	タカセ貝の放流 試験	5～ 12月	竹富島東沖	"	"	タカセ貝の稚貝を放流し、移動、成長、歩留り等について調査する。 なお、前年度同様標識放流についても実施する。	
指導事業	少年水産教室	8月	水産業改良 普及所	中学生	漁協, 市町村	漁村の子弟に漁業に関する知識、技術について学習させ漁業についての理解を深める。	漁業後継者対策事業

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
指導事業	青年水産教室	11月	石垣市	漁業者 漁協、青年部 研究グループ	漁協、市町村	磯湖内の生物生態について 講師 琉球大学生物学科教授 西平守孝氏	漁業後継者対策事業
	漁村青壮年婦人活動実績発表大会	1月	那覇市	青壮年部 婦人部 研究グループ	漁協、県漁連 市町村 農改普及所	漁村青壮年婦人の自主的な研究実績を 発表させることにより相互の知識の交 流を図る。	"
	沿岸漁業改善資金の 活用並びに調査指導	4月～ 3月	管内全域	漁業者	漁市 協村	事業実施前後の経営指導	沿岸漁業改善資金 助成法
	グループ指導	"	"	青少年グループ	"	漁村青少年グループ育成指導	
	巡回指導	"	"	漁業者 青少年グループ	"	漁村を巡回し、巡回相談、試験調査等 の事業を行ない漁村青少年グループの 意向集約及び育成指導強化について行 なう。	
	ヒトエグサ繁殖指導	10月～ 3月	石垣市	研究グループ	"	専枝の指導助言を受けながら、前年度 の問題点を改善し繁殖技術の確立を図る。	
	浮魚礁利用と漁具 漁法及び鮮度保持 の指導	4～10月	管内全域	漁業者 研究グループ	漁市 協村	浮魚礁周辺漁場に於ける曳縄釣、流し 釣漁具漁法等の指導、浮魚礁周辺漁場 で釣獲されるマグロを中心に鮮度保持 方法の実施指導と同時に鮮度の調査も 行なう。	